

囚いりわれし女メたちの嬌こゑ声



Adult only





あいつの  
下衆な笑み



助けるため  
とは言え  
無理矢理犯して  
くるような

やめろっ

女の敵を  
許せる筈も  
ないのに――

やめ……!



女である事を  
捨てたオレが

自分でも驚く  
ような嬌声を  
漏らしている

深いっ……!

快楽に飲み  
込まれた  
自分がいた



遅く太い肉棒を  
体の芯に打ち  
付けられる感覚

んはあっ

理性が弾け  
飛んでしまい  
そんな快感

ああっ

あっ



熱い...

ああ...

それを教えて  
くれたのは  
オマエだ

D・S



男に体を  
許す事が

これほどまでに  
心を満たす  
ものだなんて

ちよっ...!!

次いくぜ...

そんな続けて  
出されると

体がもたないっ...

キエウケ!





お目が  
覚めたか？

随分と気を  
失ってたな

え…



そうか—

気持ち  
良すぎて  
意識が混濁  
してたか？

んはっ

また現実に  
戻されたのだな…

記憶が軽く  
飛んでた  
みたいだな



んじゃモーニング  
サーピスといくか



ああっ



景気づけの  
朝のー発  
つてな…!!

あはあ  
っ…!!



亀頭を口に含んで  
舌でカリの裏を  
何度も舐め回すんだ

ふほっ…

ふ

カキ



教えた通り  
先に舌で  
尿道口を  
味わって…

んっ…

和和



鬼道三人衆  
の一人

カイ・ハーンが  
何の抵抗もせずに

オレの汚い  
チンポを  
啜えてくれる  
なんてな

犯してくれと  
言ってるような  
装備だったし

元から好きモノ  
なんじゃねーか？

カキ

カキ

カキ



おぐっ

オラ  
全部飲み  
込めっ…!!



寝起きたからって  
サボってんじゃねーよ

うっ…





ホ...

悔し涙を  
浮かべる  
その顔が  
たまらないぜ



おち...

一体誰に  
教え込ま  
れたんぞ  
たんだろ  
うな？

俺達が犯  
した時  
にはもう  
尻穴は  
使  
い込  
ま  
れ  
て  
た  
し



ダイ・アモン様に  
血を吸われてるんだ

ほくっ

コイツには  
多少乱暴に  
するくらい  
いいがんだ  
ちようど  
いいがんだ

喉が詰ま  
って死  
ぬもク  
ソも  
ない  
さ



オレ様として  
は処女膜  
プ子  
抜いて  
徹底的  
に仕込  
んだん  
でや  
りた  
か  
つ  
た  
ん  
だ  
が  
な  
っ  
...!

おかげ  
で調教  
の手  
間も  
省  
け  
た  
つ  
て  
も  
ん  
よ



んひいっ!!

アアアア!

おち

にが

んじや絶頂で  
目を覚まして  
やるか



げほおっ...

あーあー  
零しちゃって  
もったいねー!

まだ頭が  
回ってないか



おおっ

盛大に  
イってる

痙攣しまくり  
だぜハハ



かはっ...!

他に捕らえた  
奴はどうなった?

ああそれなら  
他の奴等が  
面倒見てる





鬼道三人衆の一人

シーン・ハりは自分の呪符で生み出した

式蜘蛛の卵を腹の中に宿してるさ

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

産まれちゃう...

ダメ...

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

お願いだからもうやめて...

ぐわんぐわん!?

だから俺達の肉棒で栓してるだろ?

ぐわんぐわん

にち...♡

ぶわんぐわん...

ぐわんぐわん

そ...んなの

貴方達が...っ!

そんなに魔物の子を産むのが嫌か?

は...!

はあっ





あああああ  
あああああ

もう産まれ  
ちまった

でも残念♪

いやあああああ



ひっ…!!

これからも  
いろんな魔物の  
子を産む事に  
なるんだ

始めの内は



嫌っ

嫌あっ!!

D・Sー!!

助けて

惚れた男の  
名を叫び続ける  
なんて健気だねえ



次はオマエの  
要望を  
聞いてやるよ

誰がいい?

私もう  
戻れない...



しばらく  
休んで

それからまた  
新しく種付けだな

ああああ...



魔力に満ちたこの  
ダークエルフの体

私の思っていた通り  
あなたは極上の血液を  
お持ちでいらつしやう

くっ…!!

この化け物め…!

そして今頃  
アーシエス  
・ネイも:

残念なのは処女で  
ない事だけですが  
仕方ありませんね



さあ  
たつぷり私は  
血を頂いたので  
後はオマエ達の  
好きになさい

くうっ…

ただし殺しては  
いけませんよ

アイサー!

くそっ…シーンやネイの  
血を吸って私の力を  
上回ったというのか



それじゃいただき  
マンモス(死語)

おのれ:こんな  
下等な奴等に…!





こんな真似して  
許されると  
思ってるのか…!!

尻穴はあの男に  
開発され切ってて  
啜え込みが凄いで

自分からチンポ  
握っただけで  
説得力ないぜ

さすがダイクエルフ  
きめ細やかな肌に  
適度な弾力

衰えの知らない  
締まりの密童と  
いたまらん

貴様ら



それができれば  
の話だけだな

くっ…



敗残者のくせして  
やたらと高慢だな

おうっ!!

じゃあ助けて  
もらうか?  
「あの男」によ!



メタ・リカーナ  
もすでに陥落

戦利品のシーラ姫も  
今じゃすっかり  
随ちてるな

駄目...

そんなに激しく  
動かさないで  
下さい...



苦し...



みんな今でも  
飽きずに貪り  
ついてるぜ

んふうっ

噂には聞いていた  
美貌の持ち主  
だったな





助けて…!!  
D・Sー!!

処女を散らした時には  
必死にD・Sの名前を  
叫んでたな

あーあー

抵抗しまくって  
捕らえた時も  
よかつたけどな

D・S!

未だに処女  
だったのが  
驚きだぜ

毅然とした態度で  
睨め付けてたなあ

D・Sー

///…///

うまいか?

そんな姫さんも  
今じゃすつかり  
俺達の雌奴隷さ

ひやい…  
おいひいれ…

明日は何を  
仕込んで  
やろうか



D・Sのツレの女はどうした？

バカッ…！

神官の娘か

そんなトコ  
舐めないで  
っめば…！

最初の奴は  
イチモツ噛み  
ちぎられた  
らしいな



やっ…！

魅了の魔術を  
使つてようやく  
おとなしくなったが

やっ…  
それ以上…

ふええっ…？

それでも何時間も  
必死に抵抗してたぜ

気持ちよさに  
舌を噛み切る  
気力さえ  
削がれたか

しょうがねえから  
一から仕込んで  
やっつたよ

気持ち  
悪い…！

女の悦びを  
覚えさせる  
トコからな





ほらいい加減に飲み込め

んー!

んー!

男の匂いに  
そろそろ理性も  
飛びそうだろ?



ううー!

心配すんな

その気の強さに  
免じて殺す事は  
しねえよ

頭のでっぺんから  
足のつま先まで  
性感帯になるよう  
仕込んでやるさ

うー!



もぐもぐ...

よいしい子だ



ようやく  
鉄の処女  
も頂きだ

つふくう



ほらとつとと  
歩くんたオーク

ウグウ



あ・はあ・あ・！

ケルベロス  
相手に腰降る  
くらいだオーク

まさにさかりの  
ついたメス犬だ  
オーク

太い・！



すっかり犬の  
格好が似合うように  
なったオーク

今じゃすっかり  
従順なメス犬に  
なったオーク





ニンゲンほど  
面白いペットも  
いないオーク

異種交配で欲情  
するなんて畜生と  
変わらないオーク

くっ...



ケルベロスの逸物が  
すっかりお気に入り  
みたいオーク

並の人間じゃ  
すぐ壊れるから  
楽しいオーク

さすが普通俺達を  
幸いてただけある  
ネイ様だオーク

くっ...



中で

膨らんでえっ...!



ここまでハマるとは  
思ってたかったオーク

来るっ...!



こんなに…

毎日大いのを出し入れしててせいで



指だつて簡単に…



見てくれ

もうこんなに広がる…



突き刺さってないと物足りなくて…



熱いのを早く…



こっちにも欲しい

たまらない…



イホイポのっ

たの…むっ

ん、どうしようか  
オーク?

欲しいんだっ  
太いペニスが…

イホイポの  
たぐさんついてる  
凶悪なオークの  
ペニスがっ…!!

早くっ…!!

ベットはベット  
らしくちやんと  
おねだりする  
オーク?





奥まで入れられただけでイッたオーク

あ...あ...



んひいつ!!

オークツッ!

グチュッ!



入って...きたあ...!

おおうつ

すっかり俺達のチンポの虜みたいだ



強く逞しい女を征服する快感はたまらないオーク

いいっ

ダイ・アモン様のおかげオークありがたいオーク

いっっ



今日も元気に種付けオーク

デカ過ぎてチンポのラインが見えてるオーク

精子逆流してるっ...!



おふっっ

おふ

オークの匂い：  
鼻にくる…



おふ

おふ

わかってる…

これくらいで  
満足して  
もらつては  
困るオーク

ああ…

まだ始まった  
ばかりオーク



おふ

おふ

おふ

おふ



チンポの処理も  
すつかり持れた  
みたいオーク



おふっ…

おふ

喉の奥まで  
飲み込める  
んだから  
凄くオーク



おふ

遅しい体も  
だんだん  
熟してきた  
オーク

乳も少しずつ  
大きくなって  
きたオーク

んっ…!

たつぷり全身で  
味わうオーク…!

おふ





そろそろ  
こっちにも  
入れるオーク

あっ...

ムキ!!

早く

早くオレのケツの  
穴にそのグロテスク  
なのをぶちこんで  
くれっ!!



言葉遣いが  
なっていないのが  
たまらんオーク

イボイボが  
ゴリゴリ  
擦れてっ!

病みつきに  
なるっ!!

手を動かすのを  
さぼるんじゃない  
オーク

分かってる:

早く濃い  
飲ませて  
くれっ!!

もうすっかり  
性欲の虜  
オーク



出るっ...!  
オーク

俺もっ...  
オーク

あひいひいっ

すっかり  
だらしない  
頭だオーク

いき過ぎで理性が  
ぶっとなでるオーク







presented by Lover's



Arshes nei



Sean Harri



The princess Sheila



Kai Harn



Tia Noto Yoko